

竜爪中学校区小中一貫教育構想（案）



【竜爪中学校区の学校教育目標（9年間で育成を目指す子どもの姿）】

高め合う仲間【視点1】

【子どもや地域の実態】

- 明るく素直な子どもが多い。
- 異学年でも仲良くできる。
- 外遊びや運動が好きである。
- △学習習慣の定着に課題が残る。
- ◎教育に対する関心が高く、地域全体で子どもたちを育成しようという風土がある。

西奈小

竜爪中

北沼上小

【重点目標】

自分大すき 友だち大すき 西奈大すき

【重点目標】

竜爪プライド

【重点目標】

自分の思いや考えをもってやりぬく子

ふるさと教育の推進

- ・ふるさとを学ぶ
- ・ふるさとで学ぶ
- ・ふるさとに学ぶ

竜爪中学校区ならではの小中一貫教育カリキュラム【視点2】

確かな学力

仲間と共に学び合う子

学びの基盤を身につける活動の実施

- ・自分の思いや考えを広げる読書活動の実施を図る。
- ・単元展開の中に自分の思いや考えについて整理する「かく」（表現する）場面を設定する。

思いや考えを仲間と伝え合う
機会の確保

- ・協働的に課題を解決する場面を授業等で設定する。
- ・学習スキル表を意識し、学年に合わせた「話す」「聴く」「かく」力を系統的に指導を行う。

仲間との学びを振り返る時間の設定

- ・授業後や単元末に、仲間との学びや自分の学ぶ姿勢について振り返る時間を設定する。
- ・学びの姿勢を価値付ける評価をする。

豊かな心

人とのつながりを大切にできる子

自分・相手のことを理解し
よさを見つけ認め合うことが
できる子の育成

～「ありがとう」「ごめんなさい」
が素直に言える子をめざして～

- ・様々な考え方や価値観に触れ、相手のよさを知ったり、自分の考えを深めたり、言葉について考えさせたりする道徳教育。
- ・「ソーシャルスキル」を学ぶ機会の設定。

相手のために自分から
すすんで動ける子の育成

- ・「だ」「い」「じ」のローガンを
用いたあいさつ活動、清掃活動の推進。
- ・自治能力、自尊感情を高めることができるふりかえりの場の設定。

健やかな体

自分の健康について 進んで考える子

健康についての課題の把握

- ・健康診断や体力テストを通して、体の状態をつかませる。
- ・小中の9年間を通した運動技能と保健教育の系統表を利用し、自身の課題を持たせる。

健康になるための教育の推進

- ・早寝、早起き、朝ごはんを推進するために、実態調査の実施と、自分の健康を振り返る場を設定する。
（メディアと適切に付き合う。）
- ・体育科では、個人の課題に合った目標設定ができる授業を行う。

教務部

視点3

事務部

グループ校研修
の実施

- ・小中一貫に関する3校合同の教職員研修を計画的に実施する。

小中一貫教育の
教育課程作り

- ・9年間を見通した年間指導計画を検討する。
- ・小中一貫教育課程表を作成する。

事務の
効率化・平準化

- ・事務処理に関する情報の共有。
- ・共同実施による効率化・平準化。

予算の有効活用

- ・教育課程と連動した予算執行管理。
- ・備品共有や消耗品の共同購入などによる予算の有効活用。

環境整備

- ・共同作業による教育環境整備。
- ・学校施設の共同点検による、安全安心な学校づくりの推進。

【地域との連携】

■ 竜爪中学校区ならではの「しずおか学」の研究

- ・歴史文化、お茶

■ 地域・学校・保護者の活発な意見交流

- ・小中一貫教育準備委員会

■ 地域に開かれた教育活動

- ・小中一貫教育だより